

令和5年度 一橋大学商学部学校推薦型選抜試験問題（本試験）

【推薦小論文】

以下の課題文は、「問い直される ESG 資産運用」（日経ビジネス 2022 年 6 月 27 日号）からの抜粋である（ただし、問題作成上、写真や文章の一部を削除し、傍線と語注を追加している）。この文章を読んで、次の 2 つの設問に答えなさい。

設問（1） 傍線部①「ラウド氏は、変化が特にはっきり見えた重要分野として、防衛、エネルギー、ソブリンリスクの 3 つを挙げる。」について、各分野における変化の内容を、あわせて 600 字以内で説明しなさい。

設問（2） 傍線部②「問題を難しくしているのは、普遍的、客観的で厳密な ESG 投資の枠組みが存在しないことだ。」とあるが、課題文全体に書かれている ESG 投資をめぐる諸問題を簡潔に整理したうえで、ESG 投資の是非に関するあなたの立場を明確にし、その理由を 600 字以内で説明しなさい。

【課題文】

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

出所：Harriet Agnew, Adrienne Klasa and Simon Mundy. How ESG investing came to a reckoning. *Financial Times* [London], 6 June, 2022. (日経ビジネス 2022年6月27日号「問い直される ESG 資産運用」)

語注（『大辞林 第四版』に基づいて作成）

- (1) ソブリンリスク：外国の政府や政府系機関などに融資を行う際、資金が回収できなくなる危険性のこと。
- (2) 相関係数：2つの変量間の相関関係の程度を表す数値。
- (3) (信用) 格付け：債券などの元本償還や利払いの確実性の度合いについて序列をつけること。
- (4) トレードオフ：複数の条件を同時にみたすことのできないような関係。

以上.

令和5(2023)年度 一橋大学 学校推薦型選抜 経済学部 小論文

以下の文章を読み、設問に答えよ。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

【出典：河北新報社説デジタル版（2022年5月31日）「勤労者皆保険」提唱 負担の形、示すことが先決だ】

設問

- (1) 社説内に、「パートら短時間労働者が加入できる企業要件も2年後までに「従業員501人以上」から「51人以上」に緩和することを既に決めている。」とあるが、具体的には、週労働時間20時間以上働く短時間被保険者の適用拡大は、2016年10月から500人超えの企業、2022年10月から100人超えの企業、2024年10月から50人超え企業というスケジュールで段階的に行われることになっている。社説の趣旨を踏まえて、企業規模に応じて段階的に実施する理由を考え、合計200字以内で述べなさい。
- (2) 設問(1)において、週労働時間20時間以上働く短時間被保険者の適用拡大が起きていることにふれたが、その結果、企業が行う可能性のある保険料支払い逃れの方法を合計200字以内で述べなさい。
- (3) あなたが設問(2)で答えたような保険料支払い逃れの行動を多くの企業がとった場合、非正規・正規労働者の賃金格差の問題にどのような変化が生じるかを理由もあわせて合計400字以内で論じなさい。ただし、仕事内容、訓練に関する人的投資の側面を考慮した上で答えなさい。
- (4) 企業が様々な理由から保険料支払い逃れを行うことが困難な場合、「勤労者皆保険」の導入によって、企業側の非正規雇用の仕方にもどのような変化が現れると予測されますか。合計200字以内であなたの考えを述べなさい。
- (5) 上記の社説や設問の解答をもとに、あなたの「勤労者皆保険」に対する意見を合計400字以内で述べなさい。

【推薦小論文】

以下の課題文は、大屋雄裕「配慮の範囲としての国民」（中野剛志（編）『成長なき時代の「国家」を構想する：経済政策のオルタナティブ・ヴィジョン』（ナカニシヤ出版，2010年））からの抜粋である（なお問題作成の都合上，表記などに適宜変更を加えた）。この文章を読んで，次の2つの設問に答えなさい。

設問1 下線部1について，「この問題」とはどのようなもので，なぜそれが「きわめて重要となる」のか，400字以内で述べなさい。

設問2 下線部2について，著者が「民主政を構成する主体の範囲について理論的に考える」ことに意義を見出す理由を説明しつつ，課題文全体の論旨に照らして800字以内で論評しなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

*ブラウン対教育委員会事件 (Brown v. Board of Education) : 1954年にアメリカ合衆国連邦最高裁が、それまで長年「分離すれども平等 separate but equal」の基準に基づいて擁護されてきた人種別学制度（黒人と白人を別々の学校に通わせる）を、法の下での平等を定める連邦憲法の条項（修正第14条1項）に違反するとして訴訟事件。その後の人種差別的立法に対する違憲判決、人種統合や公民権運動など、現在に至るアメリカの人種差別撤廃の潮流を決定づけたとされる。

令和5年度一橋大学社会学部学校推薦型選抜試験問題

【小論文】

設問 自由と不自由のあいだの不可分な関係について多面的にとらえ、論じなさい。(1200字以内)

令和5年度 一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部
学校推薦型選抜試験問題

以下の文章は、渋沢 栄一『論語と算盤』（2013年、株式会社 KADOKAWA）の「人は平等なるべし」からの抜粋である。

著作権保護の観点から、公開していません。

経済の生産性を高めていくためには、古くは、アダム・スミスが示したように、分業によって実現ができると考えられてきた。さらに、「適材を適所」に置くことで、分業の効果はさらに高まる。

設問(1) 今後は、AIと人間の分業が進展していくものとする。AIと人間はどのように分業をしていくべきか考える。AIが得意とするところと人間が得意とするところを踏まえて800字以内で説明しなさい。

同書では、

著作権保護の観点から、
公開していません。

と続けている。

設問(2) AIは人間を超えた力を持つことも予想されている。その時に、データやAIを持つ人間と持たざる人間、人とAIとを競わせようとするような社会の動きから、不平等は拡大すると考えるか。800字以内で自分の意見を書きなさい。